**万博誘致推進室**

**事務事業執行概要**

**総合調整グループ**

**１　室の庶務事務及び調整事務**

室の予算編成、経理、給与、物品、福利厚生及び一般庶務事項を掌り、当該事務の円滑な執行に努めた。

室内各グループの業務の総合調整を図り、円滑な事務執行を行った。

また、大阪府議会2025大阪万国博覧会誘致推進議員連盟や、2025年国際博覧会誘致特別委員会にかかる調整を図り、円滑な事務執行に努めた。

**２　2025日本万国博覧会誘致委員会の総務関係事務**

2025年国際博覧会の誘致活動を行う任意団体「2025日本万国博覧会誘致委員会（以下「誘致委員会」という。）」の総務事務を所掌し、当該事務の円滑な執行に努めた。

**３　一般社団法人2025年日本国際博覧会協会の設立関係事務**

平成30年11月23日にＢＩＥ総会で、2025年国際博覧会の大阪・関西での開催が決定したことを受け、国際博覧会の準備及び開催運営等を行い、博覧会を成功させることをもって、国際連合の掲げる持続可能な開発目標の達成に貢献するとともに、わが国の産業及び文化の発展に寄与することを目的とした一般社団法人2025年日本国際博覧会協会の設立関係事務を所掌し、平成31年１月30日に協会を設立するなど、当該事務の円滑な執行に努めた。

**事業推進グループ**

**１　国内機運醸成の取組み**

様々な広報媒体の活用や、各種団体との連携・協力体制を構築し、誘致ＰＲを行うなどにより、国内での誘致機運を高める取組みを行った。

（１）誘致実現に向けたＰＲの実施及び誘致活動に対する協力の働きかけ

各種広報媒体（ホームページ・府政だより・もずやんツイッター等）を活用したＰＲのほか、庁内各部局が所管する関係施設や印刷物へのロゴマークの掲出、各種のイベント機会を捉えたＰＲ活動、賛同署名集めなどを実施した。

また、都道府県や市町村、関係団体・民間企業等に対しても、ＰＲ協力の働きかけや連携した取組みを実施した。

（２）都道府県や市町村議会、関係団体に対する賛同決議の働きかけ

府内市町村議会、全国知事会、関西広域連合議会等に対する賛同の働きかけを行い、誘致決定直前までに47都道府県を含む全国277団体から決議を得た。

（３）誘致委員会の枠組みを通じた取組み

国内における誘致機運の醸成など以下の取組みについて、誘致委員会の枠組みを通じて行った。

ア　誘致委員会会員等の賛同者の拡大

誘致委員会のホームページやメールマガジンなどを通じた誘致ＰＲや、様々な主体が実施するイベント等とも連携し、賛同署名集めなどに取り組んだ結果、誘致決定直前までに約134万名の賛同者を得た。

イ　万博の開催意義や理念などの理解を深めるイベントの実施

誘致決定前に機運のさらなる盛り上げを行うとともに、万博の開催意義や理念についてアピールや理解を促す大規模なイベントを、大阪と東京において実施した。

ウ　「ＳＤＧｓ」に対する理解の促進

万博のコンセプトの柱となる「ＳＤＧｓ」の達成に向けた取組みとして、若者を中心とするメンバーが、具体的な事業提案を行う取組みや、関西に在学中の留学生が母国の社会課題を研究テーマに掲げ、ＳＤＧｓの具体的な取組みについて提案するプロジェクトなどを実施した。

エ　若年層に対する誘致ＰＲ

次代を担う若者に対する万博誘致のＰＲを行うため、万博誘致スペシャルサポーターであるポケットモンスターやハローキティなどのキャラクターを活用し、応援動画やグッズ等を作成した。

あわせて、ポケットモンスターがデザインされた子ども向けのチラシを作成し、府内の小中学校・高等学校等の児童・生徒に対し配布した。

また、若年層の方々が楽しみながら、万博やＳＤＧｓに関心が持てるようなキャンペーンサイトを誘致委員会のホームページに開設するなどの取組みを行った。

オ　民間企業や各種団体等と連携した誘致ＰＲ活動

在阪鉄道事業者各社の主要ターミナルでのデジタルサイネージの活用や、応援商品の販売・応援動画の作成など民間企業等とも連携を図りながら、誘致ＰＲを集中的に行った。

カ　「私の考える万博絵画展」の応募作品の展示実施

小学生を対象に平成29年度に募集を行った万博絵画展の応募作品（応募数2,194点）について、平成30年４月～11月までの間、府内外22カ所で展示を行った。

キ　機運醸成に向けた各種広報の実施

誘致委員会のホームページ等において、万博の開催概要やめざす万博の姿、誘致活動に関する情報を発信したほか、ツイッターやフェイスブックを活用し、民間等による自主的な誘致ＰＲ活動の紹介などを行った。

ク　開催国決定時の中継会の実施

開催国決定日に国会議員をはじめとする多くの誘致関係者とともに、開催国決定の瞬間を見守るために、ＢＩＥ総会の会場から開票結果を配信する中継会を実施した。

また、中継会に参加できない方が、自宅などで決定の瞬間を共有できるよう「ＹouＴube」を活用し配信する取り組みを行った。

**２　万博構想への理解促進**

（１）府民等を対象に万博構想の理解促進並びに機運醸成を目的とした講演を実施した。

（２）大阪・関西の各大学や工業高等専門学校、各種団体等を対象に、万博誘致に対する理解を深めるための説明を行うとともに、所属する学生や職員、関係者に対して周知を行うよう働きかけた。

（３）大学生、高校生、中学生に対し、万博構想についての講義等を行った。

**３　大阪府万博推進本部の設置**

　開催国決定を受け、平成29年度に設置した「大阪府万博誘致推進本部」を改組し、知事を本部長、副知事を副本部長に、万博の成功に向けて、関連する大阪府の施策を円滑に推進する全庁組織として、平成30年12月11日に「大阪府万博推進本部」を設置した。

**事業調整グループ**

**１　海外誘致活動の取組み**

国際会議等の開催機会を捉え、誘致委員会の活動を中心に国や経済界とも連携し、ＢＩＥ加盟国に対して、大阪・関西の魅力ＰＲや支持の働きかけなど取り組みを行った。

（１）ＢＩＥ総会の機会を捉えた働きかけ

フランス・パリで開催されたＢＩＥ総会でのプレゼンテーションや、ＢＩＥ加盟各国の政府代表等に対する支持要請活動を行った。

（２）国際会議での働きかけ

「日アフリカ官民経済フォーラム」（５月）、「持続可能な開発に関するハイレベル政治フォーラム」（７月）、ＴＩＣＡＤ（アフリカ開発会議）閣僚会合（10月）などの国際会議等での誘致ＰＲ活動や支持の働きかけなどを行った。

（３）ＢＩＥ加盟本国への訪問

誘致活動が最終盤を迎え、競合国による攻勢が激しさを増す中、開催支持を固めるために、９月に欧州（ハンガリー、デンマーク王国、イタリア共和国）、10月にアジア（マレーシア、パキスタン･イスラム共和国）等のＢＩＥ加盟国を訪問し、支持の働きかけを行った。

（４）駐日大使、各国要人に対する働きかけの実施

駐日大使や各国要人の来阪機会を捉えて、以下のとおり誘致ＰＲ活動を行うとともに、支持の働きかけを行った。

ア　駐日大使館向け説明会

日本のめざす万博の姿をより深く理解していただくため、外務省と誘致委員会との共催で、ＢＩＥ加盟各国の在京駐日大使等を大阪に招き、会場予定地の夢洲の視察とともに、万博に関する説明会を開催　した。

イ　各国要人来阪の機会を捉えた働きかけ

各国政府閣僚など要人の来阪の機会やＢＩＥ加盟各国が大阪で記念行事を開催する機会を捉えて、万博の誘致ＰＲやプレゼンテーションを通じた支持の働きかけのほか、万博の会場候補地である夢洲の視察などを行った。

**整備推進グループ**

**１　会場概略検討**

ビッド・ドシエに記載された会場計画について、課題整理等を進めるとともに、会場内で必要となる上下水道・ガス・電気などのインフラについて、関係事業者へのヒアリングを行うなど、整備に向けた検討を進めた。

また、万博開催期間中の災害対策について、府市で構成する検討会議を設け、地震発生時の一時避難や備蓄、台風接近時の営業中止など、万博会場での必要な対応策の洗い出しを行うとともに、万博関連事業である夢洲南エリアの追加埋立についても、大阪市との協議を行った。

あわせて、会場計画にかかる制約条件等を含めた土地利用の課題等の技術的な検討を行った。

**２　交通アクセス検討**

万博開催中の交通需要予測に基づき、国や大阪市等の関係機関と輸送計画の具体化に向けた検討課題の整理等に関する協議を行った。

また、万博関連事業である地下鉄中央線の延伸や輸送力の増強について、大阪市との協議を行った。